

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930 富山市五福1130
 TEL (0764) 41-2481(代)
 発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

地域住民健康教室 毎月開催

開院三十四周年(昭和三十七年三月二十一日)を迎えた西能病院は、魅力ある病院づくりを年間テーマにして、医療技術の向上、より良い人間関係、接遇改善につとめている。さらに地域に開かれた病院を目指しており、その一つとして、四月から毎月一回、地域住民健康教室を開催することにした。病院五階ホールで開催の健康教室は続けていく。

医療、保健、福祉を課題に

四月から 富山市五福四区公民館で

健康教室を開催する場所は富山市五福四区公民館。これは四区町内会長高見良明さんの「地域の住民に健康の話を継続してやってほしい」との申し込みがきっかけ。これに対し、病院は全面的に協力することにし、高見会長と相談のうえ毎月一回開く

健康教室を開催することを決めた。健康事業部が窓口になって計画を進めている。担当は、西能理事長、西能院長はじめ、医局、看護部、リハビリテーション、放射線室、薬剤部、栄養部、健康事業部などである。課題については、健康指導、栄養指導、薬剤指導、福祉問題、介

護問題、体操(健康)、骨密度測定、リハビリ、成人病、消化器、漢方薬、予防医学、救急処置などを検討している。医療相談も

医療相談も

なお、各地区からの参加を望んでおり、会場では血圧測定のほか、医療相談にも応じている。

永年勤続者十二人を表彰

開院三十四周年記念式で

西能病院は開院三十四周年記念式を三月二十日、五階ホールで挙行、次の永年勤続者十二人を表彰した。

- ▽三十年(一人)山口明江
- ▽二十五年(五人) 鑑政行、田中行久、金谷智恵子、二口雅子、飛田勉
- ▽二十年(二人) 古井良洋、木下文雄
- ▽十五年(二人) 松永幸恵、大島佐登美
- ▽十年(二人) 出戸春美、石黒芳美
- ▽五年(十人) 中田達也、森田忠秀、正田愛、波川満喜、上田かおり、坂本之子、森田真貴子、平野多佳得、宮崎明子、寺垣恵美子

健康教室 五階ホール

三月二十八日午後三時「突然死を防ぐには」石原医師

四月〇日開演日未定

五月十四日「スポーツ障害の予防と治療」

糖尿病スクール 入校日

三月二十四日

四月七日、二十一日

五月十二日、二十六日

親切・善行感謝の集いで感謝状 入浴車と、登校児童を守る石倉さん

三月三日、県民会館大ホールで開かれた第三十二回親切・善行感謝の集い(県善意銀行主催)で、西能病院の入浴専用車(団体)と、施設主任、石倉喜一さん(個人)が感謝状を受けた。

入浴車は、昭和六十三年四月から在宅老人の無料サービスを行っており、健康事業部が担当している。石倉主任は、九年前から病院角十字路で毎朝、登校児童を車から守っている。

脈打つ純粋な生きざま

西能 正一郎

今年の三月二十一日が、富山市星井町に西能整形外科医院を開院して三十四回目を記念の日であります。そのことから、五省会ニュースの三月号はいつも私の担当とされて来ました。

前向きに全力を振った気力を指針にして

この三十四年間に

西能病院と付き合っ てくださる患者さん、病院を支えてくれる職員諸君も様変わりしましたが、ここまで育てて頂いたのは皆様方の積み重ねのご協力によるお陰であります。厚くお礼申し上げます。さて、今年の開院記念について何を書こうかと考えるにつけても、種切れでテーマが、なかなか浮かんできません。

そこで今回は目先を変えて新年に職員に語るべきことと致しました。

私もこの齢になりますと、いろいろと自分の過ごして来たことを顧みるようになりました。そこで、いつも申し上げております私の海軍兵学校というものはいつか何だっただろうかということを、今もう一度思い直しているの

であります。当時私は十六歳でありました。自分自身に与えられた仕事をまっすぐに受け止めて、それに全力をあげて挑戦をしてきたことを、今日は

皆様方をお願いしたいと思います。そうすることによって、自分自身の躰にもなり、自身

の力を大きくしていく起点になると思うのです。若し、とやかく考えている暇があるならば、それをやめて、現在ある仕事にまっすぐぶつかっていく、そして、皆さんがそれぞれ一歩でも二歩でも大きく成長されますことを期待するものであります。

皆様方をお願いしたいと思います。そうすることによって、自分自身の躰にもなり、自身

の力を大きくしていく起点になると思うのです。若し、とやかく考えている暇があるならば、それをやめて、現在ある仕事にまっすぐぶつかっていく、そして、皆さんがそれぞれ一歩でも二歩でも大きく成長されますことを期待するものであります。

あすなろ

最近、新聞なんか読まなくなつたよな。あつたり前。テレビ見てりや何でもわかるもん。めんどくさい。読んでるのオヤジぐらいいやない? これが最近の女子高生達の電車の中で会話だ。こう書いてみて、あらためて若い女性から女言葉が消えつつあるの

にびっくりする。国立言語研究所で、職場での女性言葉七百例を分析した結果、女性の終助詞だった「だわ」「だわよ」はゼロ、「わ」「も」一例。逆に「だよね」が七例、「だ」が十三例あり、「女性専用語を使わない傾向がうかがわれる」という。外

西能病院三十四年のあゆみ

- 昭和37年3月 富山市星井町で、病床十九床、職員八人の西能整形外科医院を開院
- 38年12月 富山市五福で、四十七床の西能整形外科病院を開院
- 39年5月 救急病院に認定
- 40年4月 第一期増築工事(鉄筋三階建、塔屋一階)が完成、二十七室、七十七床で開設
- 42年3月 通院用バスを購入、病院一富山駅前一西町巡回
- 43年8月 第二期増築工事(鉄筋四階建、塔屋一階)が完成、三十四室、百十六床に。同時にリハビリテーション部が完成
- 44年7月 富山大橋橋脚沈下、国道8号線不通で、地鉄ビルに臨時診療所を開設
- 48年12月 牛岳スキー場に救急隊派遣
- 53年4月 医療相談室を開設
- 54年5月 内科外来の診療を開始
- 54年10月 医療法人・財団五省会が認可
- 56年3月 特定医療法人に承認
- 58年3月 第三期増築工事(増築は鉄筋五階、一部六階建)が竣工、百八十五床に
- 58年4月 内科病棟を新設
- 60年9月 健康教室(毎月一回)を開催
- 60年11月 泌尿器科と神経内科の外来を新設
- 62年4月 地域医療チームを編成、訪問診療、看護の活動を開始
- 62年4月 スポーツ整形外科を開設
- 63年4月 日曜、祝日を返上した外来休日診療(内科、整形外科、リハビリ)がスタート
- 63年4月 入浴車の無料サービスを開始
- 平成2年8月 画像センター(MRIと、CTスキャナー)を開設
- 2年12月 神通川以西の二コースに通院バス
- 3年5月 医薬分業がスタート
- 4年7月 心療内科を開設
- 4年10月 人間ドックを開設
- 5年4月 内科に糖尿病と循環器の二つの専門外来を開設、富山医大が協力
- 6年4月 糖尿病スクールの開設
- 6年9月 タワークリニック(富山市牛島町、インテックビル)開院
- 6年10月 体力測定室を開設
- 7年1月 骨密度測定装置を導入
- 7年10月 五階ホールで第一回「骨の日」記念地域交流会

明日の笑顔のために

予防医学で健康を守る

昭和六十二年四月に「スポーツ外来」として開設されたスポーツ整形外科。生徒や学生のスポーツ障害の予防と初期治療に、スポーツドクターの西能院長と八島医師があつて。



林さんを診察する西能院長



痛みもなく、練習に打ちこむ林さん

初期検診と専門的な治療が重要

スポーツ整形外科は、日本整形外科学会の中でも、近年重視される分野。西能病院では、開設当初「スポーツ外来」としてスタートしたが、西能院長、八島医師らのスポーツドクター資格認定を機に、名称を変更した。

感謝の気持ちを歌に

昨年十二月、右足を骨折して入院。手術後、患者たちに励みを与えてくれる看護婦さんには快方に向かつています。



奥多看護婦に色紙を渡す酒越さん

掲示して心の糧に

酒越さんからのいただけられた歌。酒越さんは「すべて早い回復への願いがこめられている。

感謝の気持ちをこめて作った。小雪舞う外を眺めて、治癒願う白衣の笑顔心。私達は、この患者さんの心と体の痛みを、理解し、気軽に相談や質問に答える看護婦さん。奥多看護婦美さん。

栄養の選び方

食事と健康の関連で、つねに話題になるのは、摂取する脂肪の問題。動物性油脂の取りすぎは、肥満や成人病の原因となり、健康によくない。体にいい油を選ぶ。

心臓を動かすためには、エネルギーが必要です。そのためには、適切な栄養を摂取する必要があります。油の種類によって、健康への影響は異なります。

いまを生きている

西能正一郎対談シリーズ

弁護士と医者 天職を語る

弁護士 小池 実氏

学生時代に不治の病といわれた結核を克服、難関として高い司法試験を突破し、弁護士生活三十五年の小池弁護士。このころ話題になっている、司法試験制度の改革の動きについて語っていただいた。

司法試験は狭き門

結核を乗り越えて弁護士に

何年間も司法試験予備校に通いながら、ひたすら勉強を続けてきた。司法試験に合格したのは、大変な難関を乗り越えた。小池 実氏。

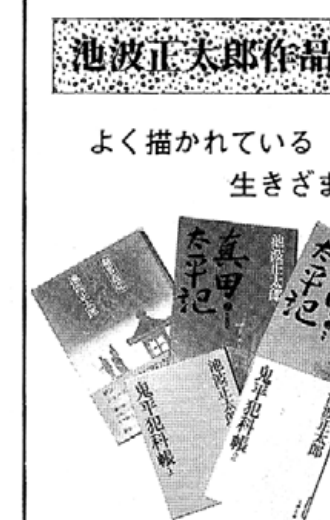
大地を踏む

五省会ニュース創刊号(昭和五十五年十一月五日発行)から二十六年に渡って連載した「大地を踏む」の続編をお送りします。これは、家族や周囲の温かい励ましで、辛いハビリ訓練に耐え、自立への道を歩む姿をつたえるものです。

わたしの愛読書

医療法人五省会理事 住博司

私の趣味は読書で、電車に乗るときは必ずポケットに本を入れていく。良書を読むことは、人間にとって大切なことである。



よく描かれている生きざま



趣味の絵が張り合い、猪木夫妻

この中で交互歩行器を利用。これは和香子さんによる「少しでも足を動かす」という考えに基づいて作られた。

田近一秀さん(二八)は、北日本放送のニュース番組「ニューズプラス」のキャスター。毎週月曜日の午後六時から七時放送。

「声」 年をとるにつれて、皮膚科の病気が増えてくる。肌のケアは、健康維持のために非常に重要。

西能正一郎対談シリーズ 西能 千四百人くらいいです。小池 弁護士は日本全国でも一万五千人くらいいです。

より活性化を 第七回院内研究発表会から

第七回院内研究発表会
発表された。

西能院長が「今年は魅力ある病院づくり、加して開催、十演題が



西能院長から表彰状を受ける発表者

より医療現場で問題意識を持って研鑽し、それを纏めて発表すること、おのずと病院のレベルアップにつながるものと確信する」と挨拶を述べた。

このあと、それぞれの所属チームの代表が日ごろからの研究成果を発表、活発な質疑応答がみられた。

十演題の発表者と所属はつぎのとおり。

△「患者さんの遠慮を通して」外来看護の再考」看護部六人、稲垣景子△「老人とのコミュニケーションの

患者さんの遠慮の原因はどこに チーム代表が10演題を発表

適切な紙オムツの使い方

△「糖尿病患者の食事療法に関するアンケート調査」栄養部三人 米原恭子△「DEXA法による骨密度検査の基礎的検討(1)」放射線課四人、鑑政行△「DEXA法による骨密度検査の基礎的検討(2)」放射線課四人、中橋ふみ子△「大腿骨頸部骨折患者の術後歩行獲得の要因について」リハビリテーション科四人、中谷郁△「伝染性単核症の症例報告」検査室三人 横井佐敏。

あり方を考える「難聴のある老人とのかかわりを通して」看護部五人、大浦春美△「紙オムツに対する一考察」看護部四人、矢後寛子△「看護記録一号用紙聴取時間の短縮に対す

る一考察」問診表の作成を試みて」看護部四人、森口佳子△「申し送り時間短縮と充実を目指して」アンケート調査による現状把握と結果報告」看護部四人、谷本依実子

保健活動の向上を
生活環境の向上、ゆきとどいたサービスを目標として、地域の健康管理の保健活動をしていきたいです。

(健康事業部 岡本明)



新人の抱負



各職場の一助に
魅力ある病院づくりの為に、魅力ある職場でありたいと思えます。総務として各職場の一助となりたくです。

(総務課 奥井信治)

家族のレクリエーション。参加者は四十三人。(写真左)



診療体制のご案内

通院バスのご案内



休日診療 (日曜日・祝日) 午前8時30分～午後5時	整形外科 	整形外科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 4:00 ~ 7:00	スポーツ整形外科 水・土曜日 午後 4:00 ~ 7:00 	人間ドック 日帰りコース 1泊2日コース 2泊3日コース 3泊4日コース (申込先) 健康事業部 8:30~17:30	体力測定 月~金曜日 午前10:00 ~ 12:00 午後2:00 ~ 5:00 (申込先) 健康事業部	
	内科 	内科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 3:00 ~ 5:00 (火・金曜日は7:00)	糖尿病外来 火・金曜日 午前 9:00 ~ 12:00 	泌尿器科外来 月曜日 午後 1:30 ~ 5:00 	在宅診療・看護 月・金曜日 午後 1:30 ~ 4:00 	栄養指導 月曜日~土曜日 午前 10:00 ~ 11:00 糖尿、ウエイトコントロール
	リハビリテーション科 	リハビリテーション科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 1:30 ~ 7:00 	循環器外来 火・木曜日 午前 8:30 ~ 12:00 	神経内科外来 土曜日 午前 9:00 ~ 12:00 	栄養指導 月曜日~土曜日 午前 10:00 ~ 11:00 糖尿、ウエイトコントロール	

強い心と実践で



朝礼の

世の中にはツイてる人がいるものです。やることなすこと全て順調に、側でみていてもうらやましいという場

運と言った人もいます。「不思議遊戯」といえば人気アニメ番組で、原作は少女コミック誌に長期連載され、単行本も十五巻、一千万部に届く超ベストセラーになったとのこと。作者の渡瀬悠宇さんに注目したのは彼女

の目標と明確さ、これに注ぐひたむきさです。デビュー半年以内に連載を持ち、一年以内に単行本の発売、二年以内に長期連載、三年目には雑誌の項点に立つという目標のすべてを實現し、TVのアニメ化まで果しました。

この陰には、どれほどの努力があったことか、目標に向けての挑戦の日々こそ作品に劣らず青春の輝きを放つて人の心を打ったのではないのでしょうか。それぞれ、仕事の現場や自身の目標を明らかにし、進むことは大切なことと思えます。「大事なことは、大志を抱き、それを成しとげる技能と忍耐をもつこと」(ゲーテ)強い心と実践で自分を鍛えていくことです。

与えられた仕事に全力を
理事、院長が年頭所感
四月五日五階ホールの
仕事始めの朝礼で西能
理事長は「与えられた
仕事に全力で挑戦して
ほしい」、また互礼会
(午後五時)で西能院
長は「皆さんの工夫、
アイデアで病院の機能
をよくしてほしい」と
それぞれ年頭所感。

十六日成人式を迎
えた次の職員六人が小
会議室で西能院長から
記念品を受けた。加藤
可寿子、武田裕美、小
川麻美子、嶋田美和、
川原亜矢子、松倉理央
二十三日五階ホー
ルで健康教室。西能院
長が「骨粗しょう症に
ついて」講演。

八日職員や来院者
二十八人が病院玄関前
の愛の献血車で献血。
十五日五階ホール
で健康教室。西能理事
長が「腰痛症の原因と
治療について」講演。
二十二日西能理事
長が大山町福祉センタ
ーで「生命ある限り」
を講演。主催は大山町
社会福祉協議会。

十四日~十五日第
二回Vリーグ女子バレ
ーボール富山大会(県
総合体育センター)に
牛岳スキー場で
レクリエーション
四日互助会が牛岳
温泉スキー場で、職員

休日診療

休日診療 (日曜日・祝日) 午前8時30分～午後5時	整形外科 	内科 	リハビリテーション科
---	-----------------	---------------	-----------------------